

村野鐵太郎監督作品

原作 森 敦

第70回芥川賞受賞

月山

一九七八年
カラー作品

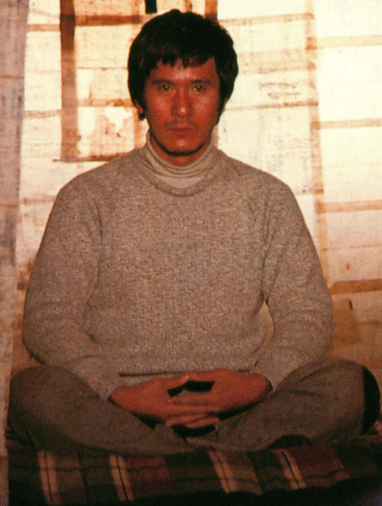
エキブ・ド・シネマ五周年記念



すべての吹雪
の寄するところ

これ月山なり

森 敦



出演

河原崎次郎
友里千賀子
滝田 裕介
稲葉 義男
小林 尚臣
井川比佐志
片桐 夕子
菅井 きん
川上 夏代
鈴木 瑞穂
川口 敦子
北林 谷栄
牧 よし子
河原崎長一郎

エキブ・ド・シネマ提供

製作 佐藤 正之
脚本 太田 六敏
村野鐵太郎
高山由紀子
松村 禎三
音楽 高間 賢治
美術 横尾 嘉良
録音 太田 六敏
照明 佐藤 譲
編集 中静 達治
題字 高山 辰雄
タイトル 石元 泰博
容飾工芸 秋山 太一郎

月山

「月山」は、生涯の大半を放浪のうちに過ごした私の、ようやくにして到達した山であり、そこで体得した死生観を書きしるしたものです。

このたびこれが見事に映画化され、選りて世界の名画を上映するエキブ・ド・シネマで公開される。これにまさる喜びはありません。

森敦

このたびエキブ・ド・シネマは、商業主義をはなれた私どもの運動をよくご存知の諸先生がたからの強いご推挙により、「月山」をみなさまにご紹介する運びとなりました。

これまで二、三の作品をのぞいては、エキブはすべて外国の名画を上映してまいりましたが、日本映画を上映し、日本の映画作家のお役に立ちたいというのは、私どものかねてからの願いでもありました。

どうぞみなさまの暖いご支援により、このきわめて純粋な作品が岩波ホールで成功し、より広く各地で上映されてまいりますよう、心からお願ひ申し上げる次第でございます。

エキブ・ド・シネマ

川喜多かしこ

高野悦子

●人の生のなんであるかを教えらるる思いがした。風景には懐しいにおいが満ちている。

永井道雄(元文部大臣)

●いま、日本の伝統が失われつつあるという。しかし、この映画を見る限り、信仰にも、風景にもそれは脈々として生きている。いつわらざる私の実感です。

ドナルド・キーン

(コロンビア大学教授・日本文学)

●苛烈な厳冬山中の雪のなかで、生死の一大事に命を賭ける思いの放浪の一青年の体験を描いている。ふんだんに出る遠近の雪景が美しい。それと来世信仰の今も生きている土俗の念仏講の後の、村の老若男女の騒宴とが、いかにも日本の映画らしい好対照をなす。どこか遠いところから不思議な感動を喚ぶ。いい映画だ。

谷川徹三(哲学者)

●日本人の土俗と迷宮の地底から遠い祖先の霊に呼びかけられて引き込まれるような、それでいて懐しくて忘れられない作品でした。これまででなかったし、今後でもできない映画なのではないでしょうか。

岩崎 昶(映画評論家)

●まれに見る形而上的な、探求精神にあふれた秀作である。

佐藤忠男(映画評論家)

●こんなにじっくり題材をみつめて、画面から精神的な強さの出ている日本映画はちょっとないと思います。たいへん立派な作品です。

飯島 正(映画評論家)

解説

●監督の村野鐵太郎は一九五三年、早稲田大学を卒業、大映に入社し、衣笠貞之助、溝口健二、小津安二郎等の巨匠の助監督をつとめ、一九六〇年「青い翼」で監督としてデビューした。第二作の「雪の降る街に」(一九六二)で、そのみずみずしい演出が注目され、以後「視界ゼロの脱出」(一九六三)、「ごんたくれ」(一九六六)、「闇を裂く一発」(一九六八)、「富士山頂」(一九七〇)などのダイナミックで男性的な作品が続く。この後大映を退社し、鐵プロを主宰するが、鐵プロ第一作のATGとの提携作品「鬼の詩」(一九七五)では、関西の落語家の芸に打ち込む奇異な生涯を描き、凝縮された人間の内奥の映像化に成功した。

●芥川賞受賞作品の中でも特異な地位を占める「月山」は、発表当時より今日まで、変らぬ感動を若者たちに与え続けているが、村野監督はこの原作に真正面から取り組み、画面からにじみ出るその真摯な製作態度が、映画界のみならず、各界の識者たちから好評をもって迎えられた。

●無とか空の世界に魅かれ大学を中退し彷徨の旅に出た主人公の青年は、タムの工事現場を転々とし、暫しの休息を求めて月山山麓の寺へ辿りついた。すでに過去のものとなった部落と寺の中で、やがて雪に閉ざされ、雪に埋もれながら、心の平和を見出そうと冥想生活を続け、生きるこの意味を見つめる

●村野監督はこの「月山」の映画化

にあたり、二年余の製作準備を経て、五十二年十月にスタッフともども七五三掛にこもって、厳寒の月山山麓で撮影を敢行し、さらに国内数ヶ所のロケーションののち、五十三年十月に映画「月山」を完成させた。商業主義、大作主義が先行する昨今、映画製作の原点ともいえる手づくりの「月山」は、現在の日本映画界に多くの問題を提起するであろう。



●出演は河原崎次郎、滝田裕介、友里千賀子をはじめとする俳優座のメンバー。脚本は新進シナリオライターの高山由紀子、音楽は尾高賞受賞者で、東洋音楽に造詣のふかい松村禎三が担当している。また即身成仏の信仰を示すミイラの製作には形成外科の権威である秋山太一郎氏があたり、タイトル写真には石元泰博氏の撮影による一九七八年度文部大臣賞受賞の曼荼羅図が使われている。なお題字の「月山」は日本芸術院会員、高山辰雄氏の筆になるものである。

(上映時間・一時間四十三分)

エキブ・ド・シネマ5周年記念

10月中旬 よりロードショー

●地下鉄(都営三田線)神保町駅・下車1分
国電(中央線)水道橋駅またはお茶の水駅・下車7分
●神保町交差点

岩波ホール (262) 5252